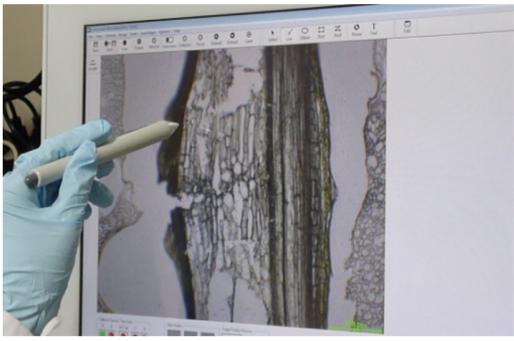


バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

<p>学会名</p>	<p>第58回植物生理学会年会</p>
<p>演題名</p>	<p>Spatio-temporal analysis of gene expression and phytohormones during tissue-reunion in incised Arabidopsis flowering stem using laser micro-dissection. (レーザーマイクロダイセクション法を用いたシロイヌナズナ切断花茎の組織癒合過程における時空間的遺伝子発現解析と植物ホルモン解析)</p>
<p>発表者</p>	<p>中野渡幸[1]※、山田一貴[1]※、<u>松岡啓太[1]</u>、<u>湯本絵美[1]</u>、<u>横田孝雄[1]</u>、<u>山根久和[1]</u>、佐藤忍[2]、○朝比奈雅志[1] (植物生理学研究室) [1]; 帝京大・理工・バイオ、[2]; 筑波大・生命環境</p>
<p>内容</p>	<p>鹿児島大学群元キャンパスで開催された日本植物生理学会第58回年会にて、レーザーマイクロダイセクション法を用いた時空間的発現解析と植物ホルモンの微量分析について、ポスターセッションにて最新の研究成果を発表した。発表では、植物凍結切片から回収した微量組織を用いた植物ホルモンの定量分析に関して、多くの質問が寄せられた。 本研究は、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、科学研究費補助金「切断組織の再生を制御する植物ホルモンと遺伝子の時空間的制御」による支援を受けて行ったものである。</p>
<p>関連画像</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>実験に用いたレーザーマイクロダイセクション装置と組織回収の様子</p>